



広報

かつやま

12月号

No.649

Katsuyama City Newsletter

平成20年12月11日発行

ぽかぽか陽気に誘われて

12月1日、平泉寺保育園の園児たちが、ぽかぽか陽気に誘われ隣の平泉寺小学校を訪れました。園児たちは、あたり一面の真っ黄色なイチョウの落葉を拾って、青空に向かい思いっきり振り上げていました。

CONTENTS

- 市長インタビュー
- 上半期財政状況
- 市長への手紙回答
- HOT話題



平泉寺小学校

歴史の散歩道

(96)

加賀新保道と布市

国道四一六号ルートは、北野津又までが開通、横倉までは自動車で行けるが、峠越えの加賀新保へは不通である。もっぱら徒歩が交通の手段であった昭和二十年代までは、ここは「新丸線（加賀新保道）」と呼ばれ、勝山との物流・人の往来が盛んであった。

貞享二年（一六八五）に描かれた「越前国絵図」には、勝山から竜谷・横倉を経、新保・丸山を経て小松に通じる加賀新保道が記されている。天正三年（一五七五）、野津又城（高尾山）に立て籠もった一向一揆に対して、本願寺頭如書状には「この山中敵の手に入り候は、加州までも大事に候間」と述べ、加賀との重要な通路であったことを伺わせている。昭和初期でも春先になると、背板にいっぱいの荷物を担いで往来する人が見られた。勝山へは鉈籠などの特産物を運び、勝山からは塩・蚕種・日用雑貨を運んでいた。

「布市」（荒土町）の字名は、平泉寺繁栄の頃、加賀の野々市と交易し布などの市がたつて賑わったことから名付けられたという。布市は加賀新保道の脇にあって町のような賑わいとなり、村の中央を大町、ここを流れる川を大町川と名付



国道416号ルートと布市



布市集落の市姫神社

けたという（勝山町はまだ成立していない）。
現在の布市には少彦名命を祀る「沢田神社」と市杵島姫を祀る「市姫神社（市・店の守護神）」があり、両社の祭礼は九月七日である。
伝承によれば、小字「炭吉」に古くから市姫神社があったという。古来、村人はここに市姫神を祀り、市のさらなる発展を祈ってきた。ところが、御神体を加賀の野々市町の者に奪われた（売ったとも）という。その後、大正末、昭和初めの農村不況の時期に、布市では村の繁栄を願って市姫神社を再建した。これが現在の市姫神社である。ちなみに、加賀の野々市は、中世加賀における流通経済の中心地として活況を呈し、馬市は著名。近世には金沢から南下する時の北陸道の最初の宿駅として栄える。大正三年、富樫郷住吉神社が布市神社と改称している。

勝山市文化財保護委員 増田公輔

人口の動き

	10月末現在	自然動態		社会動態		11月末現在	月間増減
		出生	死亡	転入	転出		
男	12,848人	4	9	10	11	12,842人	- 6人
女	14,055人	8	11	22	15	14,059人	4人
合計	26,903人	12	20	32	26	26,901人	- 2人
世帯数	8,351世帯					8,366世帯	15世帯

編集後記
▼先月29日のドラムン・ファミリーの公演は、迫力満点で500人を超える観衆を魅了しました。▼パドミントンやロボットコンテストなどスポーツや文化面での、特に若い世代のかたがたの活躍は、目を見張るものがありました。▼今年は、世界中を見渡しても、景気後退や事件・事故など、明るい話題が少なかつたように思います。そのような中で皆さんの活躍は、私たちにより深い感動を与えてくれました。心から、感謝を申し上げます。

交通事故発生状況

※高齢者＝65歳以上

件数内訳	平成20年11月末	前年比
総件数	419件	-23
人身事故 (うち高齢者)	63件 (17)	-14 (-8)
死者 (うち高齢者)	3人 (2)	±0 (±0)
傷者	63人	-23
物損事故	356件	- 9

12月の納税

固定資産税▶3期
納期限▶12月25日(木)
口座振替▶12月22日(月)

広告

広告のお申し込みは
秘書・広報課まで

